顔が見える。声が聞こえる。人をつなぐ。渋谷区からのお便りです。

しぶや区ニュース

平成29年（2017年）12月1日
No.1374 別冊
渋谷おとなりサンデー特集号

もっと知ろう やってみよう 渋谷おとなりサンデー

2017恵比寿新橋商栄会ハロウィンまつりにて

渋谷おとなりサンデーをもっと多くの人に

今年の6月の第1日曜日、区内の約40か所で、渋谷おとなりサンデーが開催されました。想像以上の開催数で、「毎月やりたい」「顔見知りだった人と話せて楽しかった」など前向きな声も多く聞こえてきました。少しずつ、渋谷のまちのあちこちで交流の場が生まれていくことを目指したいと考えています。やり方は自由です。難しく考えていただくことはありません。どうやればいいか、告知はどうすればいいか、などについての相談窓口も設置しています。ぜひ、皆さんも渋谷おとなりサンデーを開催、または参加して、おとなりさんとの交流を深めていただきたいと思います。

渋谷区長　長谷部 健

さあ、おとなりさんと何しよう。

6月の第1日曜日を"ふだん話す機会の少ない近隣の人ともっと顔見知りになる日"にしよう、というコンセプトで始まった渋谷おとなりサンデー。
今年6月4日(日)に開催された第1回渋谷おとなりサンデーでは、区内の約40か所でさまざまな交流の場が生まれました。
どんなおとなりサンデーが実施されたのか、この日をきっかけにどんな変化があったのか、おとなりサンデーのことをもっと知って、次はあなたも参加してみませんか。

渋谷おとなりサンデーって?

渋谷おとなりサンデーは、1999年にフランス・パリで始まった隣人祭りをモチーフにしています。パリのアパートで発生した高齢の女性の孤独死。みんなが顔見知りであれば起こらなかった…そう考えた一人の青年の呼びかけにより、住民同士の集まる場が開催されました。すると同じアパート内であいさつをし合う人が増え、そこから会話が始まり、子どもの面倒を見合うなどの交流が生まれていきました。その日を境に今日まで「隣人祭り」として、年に1回食べ物・飲み物を持ち寄って、集合住宅の中庭や近くの広場に集まる取り組みが各地に広がっています。

6月だけじゃない! その後も広がる渋谷おとなりサンデー NEWS!

第1回渋谷おとなりサンデー以降も区内各所でおとなりサンデーに関連した取り組みが行われています。

恵比寿新橋商栄会ぽかぽか通り ほか

開催10/28 2017恵比寿新橋商栄会ハロウィンまつり

3年ほど前から開催されるようになった、恵比寿新橋商栄会ハロウィンまつり。今年は、恵比寿のまちに古くから住んでいる人と、新しく住み始めた人が顔を合わせて交流できる機会になればと、おとなりサンデーとのコラボレーション企画に。新たな試みとしてじゃんけん大会やフォトスポットが設けられ、子どもからお年寄りまで、地域住民の皆さんがたくさん参加し、にぎわいを見せていました。恵比寿新橋商栄会では、「全ての世代が安心して暮らせるように、おとなり同士が気軽に"元気?"と声をかけ合い、そこに住む人たちから"住んでいてよかった"という声が聞こえるまちづくりを目指して、今後もこうした催しを継続的に行なっていきたい」とのことでした。

おとなりに住む方との交流の場を増やしていきたいです。

恵比寿新橋商栄会
中西トモミチさん

開催9/3 おとなりサンデー 防災編

9月の渋谷防災フェス2017で実施されました。災害発生時など、いざという時に頼りになり、助け合うのはご近所同士。非常食を一緒に食べながら、防災について学びつつ"ご近所力"を高めました。

代々木公園

開催7/24 恵比寿タウンミーティング

EBISU TOWN MEETING vol.7として、6月4日におとなりサンデーを実施した方々のうち3名をゲストに招き、お話を聞きながら振り返りが行われました。「道路でのチョークアート」「手料理の持ち寄り会」「商店街での街歩き」、それぞれのおとなりサンデーの内容を聞き、最後は参加者みんなで今後のアイデアを出し合いました。

恵比寿ガーデンプレイスCOMMON EBISU跡地

開催7/1 富ヶ谷二丁目夏祭り

東海大学と連携し、おとなりサンデーイベント「富ヶ谷二丁目夏祭り」として開催されました。例年8月に開催されていた納涼祭からの恒例イベントの盆踊りや縁日、スポーツ体験などが行われ、大人、子どもを問わず、多くの人が楽しみ、地域のつながりを実感できるお祭りとなりました。

東海大学正門、東海大学通り

スタイルさまざま! メイキング・渋谷おとなりサンデー VOICE!

6月4日の渋谷おとなりサンデー当日に各所でイベントを企画・実施した皆さんに、開催したきっかけや当日の様子、その後のつながりなどについてお話を伺いました。

外苑西 空中ピクニック
@神宮前

知人からおとなりサンデーのことを聞き、魅力を感じて、実施してみることにしました。ご近所のおにぎり屋さんやコーヒー屋さんにお声がけをし、オフィス(ビル4階)を開放して、ご近所の方々などとワイワイ楽しくおしゃべりをしながら食事をしました。デザインなどを行う会社なので、それまではご近所に住んでいる人と接する機会があまりなかったのですが、これを機に知り合えて、もともと顔見知りの人とはもっと親しくなるなど、交流が深まりました。実施後は、信頼関係ができ、お仕事をご一緒したり、参加いただいた方のつてから知り合いが増えたりと、今でもつながりが広がっています。おとなりサンデーは日曜日開催ですが、渋谷に働きに来ている人も参加しやすい平日のお昼時間などにやってみるのもいいかもしれないですね。

株式会社バウム(左から)
國影志穂さん、佐藤友梨さん、吉本 淳さん

ゴミゼロ大作戦
@ファイヤー通り

フェイスブックでおとなりサンデーのことを知り、面白そうだと思い企画してみることにしました。自分たちの働く店が神南のファイヤー通り沿いにあるのですが、日頃から個人的に、仕事の合間に通りの清掃活動をやっていたので、それをおとなりサンデーで生かせるかなと思ったんです。近隣の人たちに声をかけたら、当日はたくさんの人が集まってくれて、私たちだけでは届かない範囲までごみ拾いをすることができました。これをきっかけに、その後も掃除をしていると、自然と参加してくれる人が増えましたね。また、近隣のテナント同士が顔見知りになれたので安心感が生まれ、何かと協力し合うようにもなりました。おとなりサンデーのHPに投稿するだけで簡単に実施でき、HPを見たという人も参加してくれました。皆さんにもぜひやってみてほしいですね。

有限会社クワイエス
(右)代表 上田 奏さん
(左)堀内紋子さん

Picnic in Tokyo
@代々木公園

もともと、公園とまちをセットで楽しむピクニックのHOW TO(やり方)を集めて発信したいと、代々木公園でのイベントを企画していました。ご近所さんをお誘いした際に、おとなりサンデーのことを聞き、その趣旨が自分たちの企画にピッタリだと思ったので、同日開催することに。会社がある富ヶ谷周辺のお店やローカルスポットなどを参加者に案内しながら食べ物を調達し、公園でピクニックをしました。今回、おとなりサンデーとして実施したことで、顔見知りのメンバーだけでなく、新たな出会いもあり、公園を愛する仲間が増えて楽しかったです。後日、また同じようにピクニックをしようと、参加者自らがほかの参加者や知り合いに声をかけて集まったりしていて。イベントが終わっても、関係性が続いているのがうれしいですね。

たらくさ株式会社
Picnic in Tokyo
プロジェクトリーダー
原山幸恵さん

持ち寄りサンデー
@恵比寿ビール坂

恵比寿ビール坂祭りとおとなりサンデーのコラボレーションで、ビール坂の道に椅子と机を並べて、持ち寄りサンデーを行いました。地域の皆さんが持ち寄ったご自慢の料理を並べて、みんなでいただきました。この料理がどれも本当においしくて、一人暮らしの若い子が先輩方に作り方を教えてもらったりと、会話も弾んでいましたね。このまちは、マンションがどんどんできて、新しく入ってくる人も多いので、古くから住んでいる人と、新しく入ってきた人がうまく混ざり合っていくことが課題だと感じていたのですが、おとなりサンデーはそれをつなぐ、とてもいい企画だなと思いました。顔を合わせて少し話したことで「ゆるやかなつながり」が生まれ、朝のあいさつも変わりました。続けていくことで、いざ災害が起きた時でも助け合える仲になれると思います。

恵比寿新聞
高橋賢次さん

ブランチしながらボードゲーム
@富ヶ谷

これまで、子どもと一緒にまちのお祭りに企画側で参加することはありました。ただ、こうした地域行事を支えるのは60~70代のまちの長老たちで、下の世代とのつながりが少し薄いなと感じていました。一方、子育て世代がまちのことに無関心というわけではなく、何か面白いことをやりたいと思っている人はいます。おとなりサンデーを知り、これは地域で新しいつながりを作るいいチャンスだと思いました。当日は、富ヶ谷のカフェでブランチをしながらボードゲームを楽しみつつ、富ヶ谷の地元トークで盛り上がりました。初めてお会いする方が大半でしたが、なんだかうれしかったですね。同じマンションの方も、思い切って声をかけたら来てくれて、来年のお祭りの企画にも手を貸してくれることにもなりました。長老たちからは、次回は一緒にやろうと声がかかりました。このつながりから、これまでと一味違う地元の取り組みができたらと思っています。

特定非営利法人
二枚目の名刺
廣 優樹さん

「まちの家庭科室」のおはなし
@神宮前

自分で食堂をやりながら、お店という場所で、多世代が集って暮らしを学んだり、もっといろいろなことができたら面白いなと考えていました。普段は平日だけのランチの店をやっているのですが、休日にしか来られないご近所の家族などにも参加していただきたくて、おとなりサンデーに合わせて店を開くことにしました。当日は、新潟から南魚沼産のコシヒカリと日本酒を送ってもらい、旬のお野菜を使ったメニューを用意して、ゲストを呼んでトークイベントを開催しました。参加してくれたお子さん連れのご夫婦は、「子育て中は人脈の幅が母親同士の広がりしかないので、こういった場でいろんな世代や仕事の人と話ができるのはとても刺激になって楽しい」と話してくれて、やってよかったなと思いましたね。今後は、1か所だけでなくエリア全体で実施して、例えばその日は各お店がオープンになって、ご近所の人が行き交う日になるのもいいなと思います。

ことり食堂
中里 希さん

ちょっと紹介！ 渋谷おとなりサンデーの先輩たちの活動

渋谷おとなりサンデーの先駆けとなるような地域活動が区内各所で継続的に行われています。そんなおとなりサンデーの先輩たちにお話を伺いました。

住人同士のつながりを築く、マンション内の持ち寄りパーティー

2012年から年に2回、千駄ヶ谷の自宅マンション内で、住人がエントランスホールに食べ物・飲み物を持ち寄って行うパーティー「隣人祭り」を開催しています。もともと、パリの隣人祭りのことを知っていて、自分のマンションでもやってみたいと考えていました。そんな時、近くのマンションで既にそうした催しが行われていることを知り、飛び込みで参加してみました。参加者みんながとても楽しんでいる様子を見て、自分のマンションでもと思い、住人に提案しました。全世帯にアンケートをとって、開催に賛成か反対か、どんな条件なら開催してよいか、意見をいただきました。結果は概ね賛成。禁煙にすること、エントランスホールを汚さないこと、などのルールを決めて、皆さんの賛同を得た上で開始しました。隣人祭りを始めてからは、住人同士の距離感が全く変わりましたね。子ども同士も友達になれたり、大人も子どもの顔と名前を覚えられて、マンション内のセキュリティー面でも安心感がぐんと高まりました。日頃からコミュニケーションをとって、つながりを築いておくことは大切なことだと思いますね。

隣人祭り

隣人祭り 発起人
神向寺信二さん

自宅を開いた地域の交流スペース

うえはらんどは、代々木上原の自宅ガレージを改装して開いている地域の交流スペースです。2015年3月にオープンして以来、延べ1,500人以上の人が訪れてくれました。開催は火・木・土曜日の13:00~16:00で、赤ちゃんから高齢者まで、幅広く集まってきてくれます。ふらっと入ってきた人同士が自由におしゃべりを楽しんだり、地域のお役立ち情報をそれぞれ壁に貼って情報交換をしたり、月に数回、セルフマッサージの教室を開催したりしています。ここを始めたのは、世田谷区内で行われている「地域共生のいえ」のことを知り、地域交流の場をつくることに興味を持ったことがきっかけです。集まってきてくれた人と話をすると、互いに同世代の子どもの親だったり、いろんな共通点があることがわかりました。これまですれ違ってきた人たちと親しくなれるのはうれしいことですね。「近所で知り合いが増えた」「ここがあってよかった」と喜んで来てくれる人がたくさんいるので、今後、若い人にも参加してもらって、長くこの活動を続けていきたいと思っています。

うえはらんど 発起人
鈴木真理子さん

うえはらんど

恵比寿じもと食堂

恵比寿じもと食堂
代表　末岡真理子さん

子どもも大人も、地域のみんなで囲む食卓

恵比寿でじもと食堂を開いています。毎月第2・4水曜日に食事をつくって提供していて、参加費は500円です。大田区の八百屋さんがこども食堂を実施していることを知り、恵比寿でも地域のつながりをつくりたい、という思いから2016年2月に立ち上げました。フェイスブックページを作成して告知し、初回は親子合わせて40人の参加がありました。現在では、子どもたちと一緒に近所で野菜を収穫したり、参加者にお手伝いをしてもらいながら食事の準備をしています。じもと食堂を通して、いろんな人同士のつながりがどんどん広がっていくのが感じられてうれしいですね。じもと食堂を始めるにあたっては、すごく準備したとか、資金をたくさんかけたということはなく、誰も無理をしないかたちでスタートしました。トライ&エラーの気持ちで、まずは始めてみることが大事かなと思います。6月4日のおとなりサンデーでは、恵比寿の持ち寄りサンデー（3ページ参照）に、じもと食堂も参加したのですが、今後も同じようなかたちでまちに飛び出して、いろんなところで、もっと地域の人と関われるような仕組みを考えていきたいなと思っています。

＊恵比寿じもと食堂　www.facebook.com/jimotoshokudo/

ますらお会 ボランティア（左から）
久保田小雪さん、大高いつ子さん

ふれあい・いきいきサロン

地域住民が企画・運営、区内に45あるサロン活動

ふれあい・いきいきサロンは、ご近所さんが気軽に集い、情報交換をしたり、楽しいひと時を過ごす地域のいこいの場です。地域住民の皆さんが自主的に企画をし、ボランティアや社会福祉協議会のサポートのもと、現在45サロンが活動を行なっています。そのうちの1つ「ますらお会」は、月に1回、千駄ヶ谷社会教育館で男性の料理サロンを実施していて、区内全域から18人ほどの会員が参加しています。私たちボランティアスタッフの6人は、会員への連絡や材料の買い出しなど、活動のサポートをしています。60代から90代まで幅広く参加があり、共同作業で料理を学びながら、世代間の交流も楽しんでいますね。私たちも人生の先輩方である会員さんとのふれあいの中で、いろんなことを教えてもらっています。ご近所にこんな知り合いの方がいる、というだけで安心感も生まれました。活動は今年で20周年になるのですが、皆さん、月1回のこの集まりで顔を合わせることをとても楽しみにしてくださっているので、この活動を長く続けて、次の世代につないでいけたらと思っています。

＊サロン活動に興味のある人は、渋谷区社会福祉協議会（☎5457-2200）へ問い合わせてください。

次はあなたも！ やってみよう 渋谷おとなりサンデー

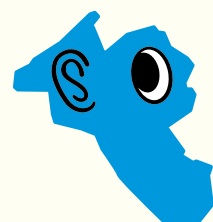
Let's try!

渋谷おとなりサンデーの相談窓口・特設サイトを開設しています

「渋谷おとなりサンデーをやってみたいけれど、どうすればいいの？」という相談から、地域活動に関する相談まで、皆さんの疑問や質問について一緒に考え、後押しをする相談窓口です。
区内在住の人はもちろん、「地域で何ができるか考えたい」という企業やNPO、活動団体からの相談も受け付けています。

問地域振興課町会担当主査（☎3463-1649 FAX5458-4906）

渋谷おとなり
サンデーHP

問い合わせ
フォーム

渋谷おとなり
サンデーHPで
6月4日の
開催レポートや
動画も公開中！